

事業報告書（平成29年4月1日から平成30年3月31日）

公益財産法人リソー教育岩佐財団

概況

当期においては公益認定等委員会からのご指導のもと再開した奨学育英事業を継続し、更に既に届出書により承認を受けている奨学育英事業の支給対象範囲の拡大に合わせた募集活動を開始した。

しかしながら、前期からの課題であるパートタイム職員の採用の検討等は次年度においても継続することとなる。

公益事業の状況

前期において公益認定等委員会からのご指導による情報開示状況の改善等の後、公益事業1の事業範囲を、東日本大震災の被災地域出身者に限らず、広く一般の自然災害の被災地言い出身者にまで拡大し、もって奨学育英事業の対象者の拡大を図り、熊本日日新聞、朝日新聞等の新聞での広告及び当財団ホームページ上での呼びかけを行った結果、3名の助成対象者が決定したが、当該3名については当期においても奨学生たる地位の継続を承認し、継続支援を行った。目下次の奨学生の募集、選考を継続中である。